

患者さまへ

「経カテーテル大動脈弁留置後の冠動脈造影にかかる時間についての検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

| | |
|---------------|---|
| 1 研究の対象 | 2020年1月から2024年8月に当院循環器内科において経カテーテル大動脈弁留置後に冠動脈造影を施行した患者さま |
| 2 研究目的・方法 | <p>80歳以上の高齢症例における大動脈弁狭窄症の治療には、カテーテル人工弁を留置して治す治療する事が一般的となっています。カテーテル人工弁留置後に冠動脈造影が必要になった場合、カテーテル人工弁が障害となり、冠動脈造影が難しい場合があります。本研究では、冠動脈造影の困難さに関わる因子を明らかにすることを目的とします。この結果は、カテーテル人工弁留置後の冠動脈造影をより短時間にして、安全な検査・治療に寄与できる可能性があります。</p> <p>既に行ったCT情報や冠動脈造影結果などを用いて検討するため、新たに検査などする事は一切ありません。</p> <p>研究の期間: 施設院長許可後(2024年12月予定)~2025年12月</p> |
| 3 情報の利用拒否 | <p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p> |
| 4 研究に用いる情報の種類 | 年齢、性別、体重、喫煙歴、病歴、カテーテル人工弁留置後のCT情報、冠動脈造影検査にかかった時間 等 |
| 5 お問い合わせ先 | <p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 山中 太 湘南鎌倉総合病院 循環器内科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717</p> |

2024年10月1日作成(第1.0版)